

アートセンターができること

月の下アートセンターに学ぶ

あいづまちなかアートプロジェクトでは文化芸術に関わる展覧会、ワークショップ、講座の開催を通じて地域の魅力を再発見、発信、共有しています。昨年はアートセンターを開設しアートコミュニケーターを中心に活動の拠点とする試みも行いました。さまざまなワークショップが自主的に行われ成果を実感しましたが、アートセンターの姿はいまだにはっきりとは見えていません。しかし、近年、アートセンター的な施設、スペースは全国各地で誕生し地域の交流拠点として活用されています。今回は福島県富岡町で東日本大震災からの復興と新たな文化創造に向けて活動している「月の下アートセンター」の事例を学びます。文化芸術、アート、まちづくりに関心のある方、何か面白いことを探している方、ぜひお気軽にご参加ください。

日時：2026年10月2日（金） 18:30～20:00（開場18:00）

講師：山本暁甫氏、嘉原妙氏（司会進行：川延安直氏）

会場：会津若松市役所1階市民ホール

参加費：無料

対象：どなたでもご来場いただけます（申込不要）

（主催・問い合わせ：あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会（市文化スポーツ課）

電話0242-39-1305）

月の下アートセンター

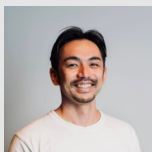
いつも そこにあるもの みかたを かえたら ちがった ひかりが てらしてくれる

2024年8月に福島県富岡町で活動を開始した「月の下アートセンター」は、地域住民や訪問者がアートを通じて交流し、新たな価値を共創する拠点です。復興のフェーズが変化する今、一人ひとりが豊かな人生を町で過ごすために欠かせない「文化資本（知識や社会的な趣味などの無形の財産）」の向上を目指しています。毎月2回程度木曜日の夜に「時の海 - 東北」プロジェクトオフィスを開放し、アートを通じた対話や地域再生を学ぶ機会を提供することで、世代を超えた新たなつながりと、人々の知的好奇心を育む場を創出します。文化芸術を起点に、町民の「心の復興」を継続的に支援していくプロジェクトです。

活動の様子



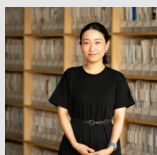
講師プロフィール



山本暁甫

NPO法人インビジブル 理事長／マネージング・ディレクター

1984年東京都生まれ。立命館アジア太平洋大学卒業。在学中よりNPO法人BEPPU PROJECTの活動に携わり、公共空間や商業施設などでアートプロジェクトの企画運営を担当。2015年にNPO法人インビジブルを設立。2021年に福島県富岡町に移り住んで以降、東日本大震災と原発事故による複合災害からの復興を進める浜通り内での活動を軸に事業に取組む。鳥取藝文祭総合ディレクター（鳥取、2014、2015）、Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 キュレーター（横須賀、2019）、MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 キュレーター（奈良、2020）、女子美術大学非常勤講師（東京、2017～2022）



嘉原妙

アートマネージャー／「時の海 - 東北」プロジェクトディレクター

1985年兵庫県生まれ。京都造形芸術大学卒業。大阪市立大学大学院創造都市研究科（都市政策学）修士課程修了。在学中より、企業メセナ協議会インターン、現代アートを中心に展覧会や美術鑑賞教育プログラム、アートプロジェクトの企画運営に携わる。2010年秋よりNPO法人BEPPU PROJECTにて、地域をフィールドに様々なアートプロジェクトの運営に従事。2015年4月～2022年3月まで、アーツカウンシル東京 プログラムオフィサーとして、東京アートポイント計画事業などに従事。2022年4月より、宮島達男「時の海-東北」プロジェクトディレクター、女子美術大学・女子美術大学短期大学部 非常勤講師、「めとてらボ」プロジェクトマネージャーとして活動。